

語源の漢語とその略語新語間での意味の回帰的相乗効果 ——若者言葉「コクる」が「告白する」を恋愛語彙化する時——

三 好 拓 斗

論文要旨

本稿では漢語動詞「告白する」とその略語動詞「コクる」を例に、意味という側面から両者の関係を探った。漢語動詞「告白する」は、近年恋愛感情の意味に偏って使用する機会が増え、結果としてその恋愛感情の意味に限定された「コクる」という略語動詞が登場した。そしてその「コクる」が世間に浸透すると、もとの「告白する」がますます恋愛感情の意味に偏って使用されるようになった。このように漢語動詞の意味の偏りから、その意味に特化した略語動詞が生まれ、その略語動詞の浸透によって回帰的に漢語動詞の意味の偏りが助長されるという現象を、辞書類やコーパスを用いて用例を挙げながら論じた。

キーワード【漢語、略語、若者言葉、「告白する」、「コクる」】

はじめに

「拓也にコクったら、びっくりしていた」

皆さんはこの例を見て、話者が何を拓也に告げたのかが推定できるはずだ。話者は「拓也」に好意を抱いていて、そのことを「告白する」場面だと考えるであろう。

しかし、この「コクる」の元の動詞である「告白する」には、本来目的語を限定することはなく、あくまで「打ち明ける」という意味しかない。通常ならば、例えば「自らの罪を告白する」のように、何を告白するのか、目的語が記載されるであろう。ところが、そのような目的語の記載がなく、例えば「Aに告白する」であっても、恋愛感情の告白の意味と自然に捉えることができるようになってきている。

もちろん、目的語の省略という現象自体は、珍しいことではない。例えば次のような例がある。

新郎新婦は、奈良ホテルでお泊まりになりました。その夜、新郎の態度がどうもはつきりしないので問いただしたところ、二年ほど前に、淋病にかかり、もうほとんど全治したけれど…、という告白があったということです。(中略) T家では、「人生のスタートにおいて、女性の信頼を失った男性は、夫たる資格がない。正直に告白したことは、男らしいこととしてほめられるべきことではあるが、挙式後というもう逃げられないとこ

ろまで追い詰めて告白するのは卑怯である」、とも怒っていらっしやいました。

(桑井いね『続・おばあさんの知恵袋』1977年 BCCWJ)

この例における、「正直に告白した」と「追い詰めて告白する」は、いずれも「を」格を伴う目的語がないが、これはその前に「二年ほど前に、淋病にかかり、もうほとんど全治したけれど…、という告白」があり、繰り返しを避けるために省略しているのである。このように、前に出てきたものを繰り返さずに省略することは、「告白する」以外の動詞でも起こることである。

しかし、「告白する」が特殊なのは、恋愛の意味においては、これまで「愛を告白する」のように、目的語を必ず伴っていたものが、ある時期を境に、目的語を伴わない用法に変化したということである。この変化が起こった時期はいつなのかを捉えることが、本研究のひとつの目的でもある。

ところで、近年この「告白する」を短縮していわゆる「略語+ル」型動詞化した「コクする」が、若者の間で広まっている。その意味は、恋愛に特化したものとなっており、例えば「自らの罪をコクする」や「会社の不正をコクった」のように、恋愛以外の意味で用いられることは、ほとんどないといってよい。

このように、近年この「告白する」の意味が、その短縮形である「コクする」が生まれるほど、恋愛の意味で使用されることが増えてきている。では、いつごろから、どのような要因でこれらの変化が起こったのだろうか。本稿ではこのような、意味の変化と略語の意味の相互の影響関係という問題を取り上げてみたい。

以下では、まず現在の辞書で「告白(する)」「コクする」の記述を確認し、ついで、コーパスを用いて用例を採集し、それぞれの使用実態を把握する。そして、「告白(する)」が目的語を伴わず、かつ恋愛の意味で用いられるようになった時期を推定し、その時期と「コクする」が出現した時期との関係を確認する。

なお、「コクする」については、文献によって「告る」「コクる」「こくる」など、表記のゆれが存在する。引用用例ではその引用元に従い、引用でない場合は「コクる」という表記で統一する。

1 「告白」と「コクる」の意味

1-1 「告白」の辞書記述

まず、「告白」という語の意味について辞書の記述を比較したい。今回は、以下の8辞書を比較した。

表1 「告白」の8辞書の記述比較

辞典	使用版刷年	記述
『学研』(第2版) (初版:1978年)	1980	[心に秘めていたことを] ありのままに相手にうちあけて言うこと。「栄二はふきげんな、怒ってでもいるような口ぶりで、自分が去年から幾たびか帳場の錢をぬすみ、それを主婦のお由にみつかったのだ、と——した〈山本周・さぶ〉」「二人の愛情の——には、そんな刺激的な背景さえ必要であったのだ〈田宮・銀心中〉」 類: 自白。白状。
『日国大』(第2版) (初版:1972年)	2001	【一】〔名〕 (1) 心の中に思っていたことや秘密にしていたことなどを隠さないのでありのまま告げること。 * 戦へ、大に戦へ〔1904〕〈姉崎嘲風〉「雄弁とは辞令を巧にし身振りを弄するの謂でない、 <u>自信を告白する</u> に過ぎない」 * 破戒〔1906〕〈島崎藤村〉二一・一「 <u>丁度この町の人々に告白するやうに</u> 、其文句を窓のところで繰返した」 * 侏儒の言葉〔1923～27〕〈芥川龍之介〉告白「 <u>完全に自己を告白</u> することは何人にも出来ることではない」 * 晉書-徐伝「豈有善人君子、而干非其事、多所告白者乎」 (2) 世間に告げ知らせること。広告。 * 新聞雑誌一一八号・明治四年〔1871〕一〇月「 <u>告白</u> 〔略〕明治四年辛未九月十九日よりして予私塾を開き英学を教授す」 (3) キリスト教で、自分の信仰を表明したり、過去の罪を告げて神の許しを乞うたりすること。 * 讚美歌〔1903頃〕目次「信徒の生涯〔略〕悔改 <u>告白</u> 」 【二】(書名2点、略す)
『明鏡』(第2版) (初版:2002年)	2010	① 心の中の思いや秘密を打ち明けること。また、そのことば。「 <u>愛〔己の過ち〕を——する</u> 」 ② キリスト教で、自分の罪を神に打ち明け、罪の許しを求めること。
『新選』(第9版) (初版:1959年)	2011	心中にかくしていたことを、うちあけていうこと。「 <u>愛の——</u> 」
『三省堂』(第7版) (初版:1960年)	2014	[秘密などを] うちあけて知らせること。「 <u>愛を——する</u> 」
『岩波』(第8版) (初版:1963年)	2019	① かくしていた心の中を、打ち明けること。「 <u>恋の——</u> 」 ② ⑦キリスト教で、自分の信仰を公にすること。信仰告白。④カトリックで、洗礼を受けた後の罪を打ち明けること。告解。
『大辞林』(第4版) (初版:1988年)	2019	① 心の中に秘めていたことを、ありのままに打ち明けること。また、その言葉。「 <u>愛を——する</u> 」 ② キリスト教で、自己の信仰を公に言い表すこと。また、自己の罪を神に告げ、罪の赦しを求めること。 ③ 広く告げ知らせること。広告。「 <u>——…予私塾を開き英学を教授す</u> 新聞雑誌一八」
『新明解』(第8版) (初版:1972年)	2020	[他人には言うまいと隠していたことを] 相手を信用して打ち明けること。「 <u>罪の——</u> 」

『学研国語大辞典』(1978年初版、1980年の第2版使用)(以下、『学研』)

『日本国語大辞典』(1972年初版、2000年の第2版使用)(以下、『日国大』)

『明鏡国語辞典』(2002年初版、2010年の第2版使用)(以下、『明鏡』)

『新選国語辞典』(1959年初版、2011年の第9版使用)(以下、『新選』)

『三省堂国語辞典』(1960年初版、2014年の第7版使用)(以下、『三省堂』)

『岩波国語辞典』(1963年初版、2019年の第8版使用)(以下、『岩波』)

『大辞林』(1988年初版、2019年の第4版使用)

『三省堂新明解国語辞典』(1972年初版、2020年の第8版使用)(以下、『新明解』)

表1は、上記の8つの辞書記述を、版の年順に並べたものである(下線は引用者が付したものであり、以下も同様である)。

いずれの辞書にも、恋愛に特化した意味記述は見られず、1つ目の意味として「打ち明ける」という意味を挙げている。しかし、『日国大』で挙げられている初出例を見ると、それより古い意味として「広く告知らせる」「広告」という意味があったということがわかる。これは『大辞林』にも③として取り上げられているが、より現代語中心に記述する傾向がある他の辞書では、すでに削除されている。また『日国大』『明鏡』『岩波』『大辞林』ではキリスト教での独自概念についても記載されている。

もう1点、注目しておきたいことは、「恋愛」を目的語ないし告白の対象としている用例の挙げ方である。『学研』『明鏡』『新選』『三省堂』『岩波』『大辞林』の6つの辞書で、「恋愛」が目的語あるいはその対象にされているが、版の古い『学研』(1978)と『明鏡』(2010)では、「恋愛」例と他の事例が併記されている。一方、版の新しい『新選』(2011)・『三省堂』(2014)・『岩波』(2019)・『大辞林』(2019)では、「恋愛」の例しか挙げられていない。より新しい時代には、恋愛の事例の方が、より馴染みやすい例、典型的な例とみなされるようになっている傾向がうかがえる。

1-2 「コクる」の辞書記述

次に、「コクる」の意味について見ていきたい。「コクる」を掲載する辞書類は、今回は次の『日本俗語大辞典』(初版・2003年)にある記載しか見出せなかった。

○こくる(告る)[動] (「告白する」の略) 愛の告白をする。好きな人に自分の好意を伝える。また、秘密などを打ち明けること。主に十代二十代の男女が使用する若者語。軽薄な語感。◆「拓也にコクったら、びっくりしてた」◆『現代用語の基礎知識 1997年版』若者用語「こくる 告白する」(『日本俗語大辞典』初版・2003年)

筆頭に「愛の告白」であることが明記されており、前述の「告白」と比較すると、意味が非常に制限されている。すなわち、「告白」の意味の中でもより新しい「打ち明ける」の意味で、さらに恋愛の場合に特化したものが、この「コクる」という表現になるということ

ある。また1997年にはすでに「コクる」が存在していたことがわかる。

加えて、ここで注目したいのが、用例として挙げられている「拓也にコクったら」という部分である。これまで、表1で示した「告白」の各辞書に掲載されている用例では、例えば「愛を告白する」のように、何を告白したのか、その目的語の記載があった。

しかし今回の「コクる」の場合は、「拓也にコクった」と、誰に対して告白したのかは示されているものの、何を告白したのか、その目的語が明記されていないのである。しかも、こうした目的語が示されていないに関わらず、その意味は概ね好意を伝えること、すなわち恋愛の意味として捉えられるのである。

このように、「コクる」は単に「告白する」の短縮形というだけでなく、意味も恋愛に特化されるという点が特徴である。

2 「告白」の使用実態

2-1 調査方法・分析観点

前項で述べたように、「コクる」は、目的語を略して恋愛の意味で使用されることがあった。では、「コクる」の原形である「告白する」も、同様に目的語を略し、かつ恋愛の意味で使用されることがあるのか。本項では、まずはじめにその実態を把握していくことにしたい。

調査資料は、国立国語研究所の「現代日本語書き言葉均衡コーパス（通常版）」（以下、BCCWJ）とし、「告白」の「書字形出現形」で検索する。検索対象についてはすべての資料を対象にし、「表示語数」は前後「500」とする。

そうして得られた検索結果について、まず「告白」を含む一文において、「○を」という目的語の有無を、1例ずつ本稿執筆者自身で読み取って判断する。それから、その一文及び前後の文脈において、次のような条件にあてはまるかどうか、検索事例ごとに読解して確認する。

- ① 原則として、男性と女性が登場する。同性間でも恋愛感情があれば考慮する。（当該期間において同性間の該当例はなかった。）
- ② 「恋」「愛」「ラブ」「好き」「結婚してほしい」などのような、直接的に恋愛を示す語がある。
- ③ 「付き合う」「振る」のような、男女間の恋愛関係を想起させる語がある。ただし、「付き合う」に関しては、必ずしもすべてが男女間の恋愛関係とは限らない場合もある。例えば次のような場合である。

【対象外の例】 — 週刊誌に掲載された告白記事は見たのか。桑田 ええ…ショックでした。裏切られた気持ちでいっぱいです。 — 書いてあることは事実？桑田 内容につ

いてはノーコメント。ただ「ダメ（カドヤスポーツのグラブ使用の契約金の裏金として五百万円を要求したということについて）ならミズノに代える」とは一言もいっていない。— 告白した運動具メーカーの人との付き合いは？、桑田 自分は弱い者が這い上がっていく姿が好きで、彼の『カドヤスポーツ』も小さな会社で、「小さいけれどいずれはミズノのような大きな会社になりたい」と彼が常に言っていたから協力しようと思った。（中牧昭二『さらば桑田真澄、さらばプロ野球』1990年 BCCWJ）

この用例の2つ目に出てくる「告白」、すなわち「告白した運動具メーカーの人との付き合いは？」という文に着目する。目的語がなく、かつ「人」「付き合い」という文言があることから、人間関係の話題である。それゆえ、一見すると恋愛関係のように思われるが、前後の文脈を確認すると、この「告白した」内容は、「カドヤスポーツのグラブ使用の契約金の裏金として五百万円を要求した」と推測できる。そのため、今回の集計対象からは除外される。

④ 目的語の有無の判断は、原則として、「告白する」という動詞に限り、いわゆる引用の「を」格による目的語の有無で判断した。これは例えば「山田に愛を告白した」のように「告白」の直前に来ているものと、「愛を山田に告白した」のように、いわゆる「に」格などの異なる要素が「を」格と「告白」の間に入っている場合も、同様に目的語ありとして扱った。

⑤ また、例えば「好きだ」と告白した。」のように、告白の内容がいわゆる「と」格などを伴って「告白」の直前に来ているものについても、目的語ありに準ずるものとして扱った。

集計時は、BCCWJの検索対象のうち、「Yahoo! 知恵袋」（以下、「知恵袋」）と「Yahoo! ブログ」（以下、「ブログ」）を「ネット例」と略称し、それ以外は「非ネット例」と略称し、区別した。

インターネットとそれ以外を分けたのは、BCCWJ収録の「知恵袋」「ブログ」のサンプルが、それぞれ単一年のものしかない（「知恵袋」は2005年、「ブログ」は2008年）ためである。仮に、これらの「ネット例」と「非ネット例」を合算して扱ってしまうと、2005年と2008年の2年分のサンプル数だけ極端に増えてしまうため、別に扱うこととした。

2-2 調査結果

2-2-1 インターネット以外の資料での「告白」

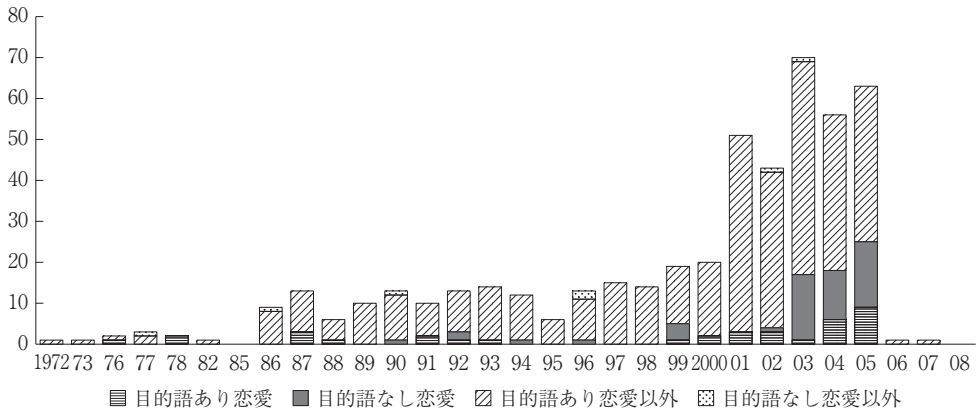
まず、「非ネット例」における調査結果を表2およびグラフA・Bに挙げる。

表2およびグラフA・Bを見ると、まず名詞・動詞の合計数が1986年～89年にかけて2桁台に増加している。中でも動詞については、恋愛の意味か否かに関わらずすべて「目的語あり」であった。ここに、1986～89年のうち最多であった1987年の「目的語あり恋愛」の

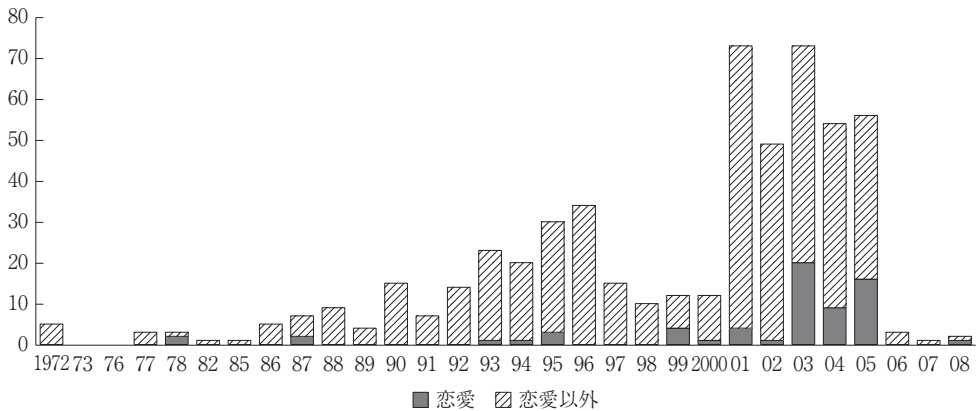
表2 「告白」に占める「目的語なし恋愛特化」用法の年代別推移（非ネット例）

	動詞					名詞			動詞+ 名詞 合計
	目的語 あり 恋愛	目的語 あり 恋愛 以外	目的語 なし 恋愛	目的語 なし 恋愛 以外	動詞 小計	恋愛	恋愛 以外	名詞 小計	
1972	0	1	0	0	1	0	5	5	6
1973	0	1	0	0	1	0	0	0	1
1976	1	1	0	0	2	0	0	0	2
1977	0	2	0	1	3	0	3	3	6
1978	2	0	0	0	2	2	1	3	5
1982	0	1	0	0	1	0	1	1	2
1985	0	0	0	0	0	0	1	1	1
1986	0	8	0	1	9	0	5	5	14
1987	3	10	0	0	13	2	5	7	20
1988	1	5	0	0	6	0	9	9	15
1989	0	10	0	0	10	0	4	4	14
1990	0	11	1	1	13	0	15	15	28
1991	2	8	0	0	10	0	7	7	17
1992	1	10	2	0	13	0	14	14	27
1993	1	13	0	0	14	1	22	23	37
1994	0	11	1	0	12	1	19	20	32
1995	0	6	0	0	6	3	27	30	36
1996	0	10	1	2	13	0	34	34	47
1997	0	15	0	0	15	0	15	15	30
1998	0	14	0	0	14	0	10	10	24
1999	1	14	4	0	19	4	8	12	31
2000	2	18	0	0	20	1	11	12	32
2001	3	48	0	0	51	4	69	73	124
2002	3	38	1	1	43	1	48	49	92
2003	1	52	17	0	70	20	53	73	143
2004	6	38	12	0	56	9	45	54	110
2005	9	38	16	0	63	16	40	56	119
2006	0	1	0	0	1	0	3	3	4
2007	0	1	0	0	1	0	1	1	2
2008	0	0	0	0	0	1	1	2	2
合計	36	385	54	7	482	65	476	541	1023

グラフ A BCCWJ における動詞「告白する」用例分類 (非ネット例)



グラフ B BCCWJ における名詞「告白」用例分類 (非ネット例)



3例を挙げる。

ティテウスが手紙を読んだあと、ベレニスはティテウスの腕の中に倒れる。だがティテウスは彼女を腕に抱いても、言いわけのような長台詞しか言わない。こうして、彼らの恋愛は終止符を打つのである。そこへアンティオキウスが登場。ティテウスに自分もベレニスを愛していたことを告白する。だがティテウスは他人には強い関心がない。

(風間研『パリの芝居小屋から』1987年 BCCWJ)

「いや、つまり私が言いたいのは、あなたがお出でになったことは、帰ったら治子に言えるか、ということです。そりゃ言ってもいいんです。しかし、ご用のおもむきを考えますと、やはり言わない方がいい。そうなりますと、今日、こうしてお目にかかったことが…」言葉の内容とは裏腹に、直は自分が恒子に愛を告白しているような気持ちになった。彼女と二人でお茶を飲むのはうれしいことだが、それにはやましさがある。

(三浦朱門『ささやかな不仕合わせ』1987年 BCCWJ)

狂暴な衝動というのは、木村についての事実を洗いざらいぶちまけるだけではない。こんな不誠実な男と離婚することをすすめ、自分は誰にも負けないほど恒子を愛している、と告白したい、という強い誘惑である。その際、恒子はどうするだろうか。

(三浦朱門『ささやかな不仕合わせ』1987年 BCCWJ)

その後は名詞・動詞の合計数が20例～40例前後で推移するが、次の段階として2001年には124例と約3倍に急増し、以降5年間は100例以上で推移する(ただし2002年は92例)。

さて、今回の調査対象である、目的語がない恋愛の意味の用例は、1990年に初めて1例現れ、ついで1992年に2例、1994年に1例と、1桁で断続して現れている。しかし、2003年以降は急に2桁台にはね上がって推移する。特に2003年は17例、2005年には16例と、この年の動詞の合計数の2割強を占める年が現れる(2003年は約23%、2005年は約25%)。以下、目的語がない恋愛の用例を、年1例ずつ挙げる。

「女の子って、なんですぐにああいうこといいだすんだろ?」「あの…」「きみがさ、おれに興味もつてるとかってさ。」「そ、そんな…」グワ〜ン! そんなこと、宮里さんからいってもらわなくなっちゃって…余計なお世話でしょ! 「くっだらねえよな。」織田くんはおこったようにいった。「え…」「ちょっと口きいたくらいで、好きとかきらいとか、関係ないじゃん。おれ、そういうの、大っきらい。」織田くんはきっぱりいった。あたしは、いきなり頭をハンマーでなぐられたようなショックをうけた。(中略)「さよならっ。」あたしは逃げだすように走りだした。「ちょっとー」織田くんの声がきこえた。幻滅はこっちよっ。ひとの気持ちなんかひとつもきかないで、じぶん勝手なことばかりいってさ。これじゃあ、あたし、なんにも告白しないうちに、ふられちゃったみたいじゃない。くやしーいっ!

(沢井いづみ『課外授業はおまじないゲーム』1990年 BCCWJ)

この用例は、「あたし」が「織田くん」に好意を抱いていたにもかかわらず、「織田くん」は自らの「好きとかきらいとか」についての理論を展開し、そういった男女間の関係を否定するような発言をしている。それに対し「あたし」が「ショックをうけ」、その場を離れるという場面であろう。この場合の「告白」は、直後に「ふられちゃった」、すなわち好意を抱いていた相手に対し、男女関係を否定されてしまったことを指す語がきているので、この「告白」は恋愛の用例とした。

パッと目を開くと、目の前に、私と同年くらいの男の子が座っている。しかし、それは、ただの男の子じゃなかった。彼は、中学三年の時、私がずっと片思いしていた男の子だ。卒業の時、私は告白したが、「ごめんね、今、つきあっている人がいるから」と、悲しそうに断ってきた、あの彼。そう、彼は、学年一のモテモテ少年だった。

(松本ありさ『次の恋までのカウント・ダウン』1992年 BCCWJ)

この「告白」は、前後に、好意が一方的であることを示す「片思い」、人付き合いという

意味の「つきあっている」、異性から大いに好かれるさまを表す「モテモテ」という語があることから、これは恋愛の意味であると捉えられる。(以下、紙幅の都合もあるので、解釈は簡略化するか略していく)

自分をひとりの女性として見てくれたことなど一度もない。たぶん、これからも一生ないだろう。寂しげに微笑んでため息をつく渚の背中を、濤子が勢い良く叩く。「あんたらしいいな。好きなら当たって砕けろやん。ちゃんと木暮さんに告白したらええのに。ウジウジしてんのは、似合わへんで」

(中山乃莉子『やんちゃくれ』1999年 BCCWJ)

この「告白」は、その前に「好きなら当たって砕けろ」とあることから、「好き」であることを「告白」しようとしていると捉えられる。

いくら同い年といえど、先輩・後輩の関係はなかなか崩せないよね。どうやって交際に至ったの? ■■■ 「そうは言っても敬語は部活中だけだったし、彼がずっとアプローチしてくれてたんです。その3か月後、今度は私から告白して、つき合い始めたんですよ」二人への取材なのに、話すのは■■■さんだけ。彼はシャイなの? ■■ 「初対面の方と話すのがあんまり得意じゃなくて… (笑)」

(■は原文ママ) (『non・no (ノンノ)』2002年 BCCWJ)

この用例でも「交際」「つきあい始めた」といった、「彼」と「私」の関係性が窺える文言がある。

(前略) なんてそんなことを言うんだ。そう尋ねたばかりに、孝之は真っ赤な目で言った。俺はお前が好きなんだ それだけ言って口を閉じた。沈黙が続く。「よくわからないけど」アンドレが野太い声を上げた。「それはつまり、告白ってことなのかな」また沢渡がうなずく。

(五十嵐貴久『1985年の奇跡』2003年 BCCWJ)

この用例では「孝之」の「俺はお前が好きなんだ」という言葉を「アンドレ」が「告白」と捉えている。「それはつまり、告白ってことなのかな」と、念を押すような語り口であることから、この話者である「アンドレ」は「告白」をただ「打ち明ける」という意味ではなく、好意を伝えるという限定された意味であると認識していると考えられる。

淡路島とって思い出すのは、学生時代、好きな女性に告白しようと思い、その人を車に乗せて島をドライブしたことだ。まだ明石海峡大橋がなかったから、フェリーで島に渡った。

(宮田珠己『晴れた日は巨大仏を見に』2004年 BCCWJ)

こちらも「好きな女性」とあることから、好意を伝える意味で「告白」であると判断した。目覚ましテレビの「乙女座は恋愛運がアップ。思いがけない人から告白されるかも」という占いに「一日中部屋から出ないのに、どうやって告白されるんだ? え? できるもんならやってみろ」と、どこまでも寂しいツッコミを入れるこの俺に— まともな社会生活なんて、不可能だ。

(滝本竜彦『NHK ようこそ!』2005年 BCCWJ)

この例では2度「告白」が出てくるので、このような場合は2件として数えている。「恋愛運」とあることから、この「告白」は恋愛の意味である。

実行委員会では、花火大会で打ち上げるメッセージ花火を募集しています。恋人や家族、お世話になっている人に告白や感謝の気持ちを込めて、夜空に花火を打ち上げてみませんか。
(高知県土佐市「土佐広報」2008年 BCCWJ)

この例では「告白」と「感謝」を伝える相手として「恋人」「家族」「お世話になっている人」の3点がある。「告白」の対象は、「恋人への恋の告白」と考えるのが、最も連想しやすいのではないかと。

一方で、「を」格や「と」格での目的語がないが、恋愛の意味ではない用例もわずかながら6例見つかった。以下の6例では、「告白」が前後に出現する用例もあるが、目的語がなく恋愛の意味でない動詞「告白する」と、それに関連する部分のみ、下線を引いている。

さらに興味深いことに、偶然なのかこの6例中5例は、「正直に告白する」の形で表れる。また直接の目的語の表示はないが、前後に告白の内容が実質的に記載されているもの(下線部参照)が多い(6例中4例)。

その事件と申しますのは、京都大学教授、T博士の長女S子さまと、やはり京大外科の副手N氏の新婚の初夜におこりました。昭和七年の秋、平安神宮で挙式のあと、京都ホテルで数百人の来賓のもと盛大に披露の宴が開かれ、新郎新婦は、奈良ホテルでお泊まりになりました。その夜、新郎の態度がどうもはっきりしないので聞いたところ、二年ほど前に、淋病にかかり、もうほとんど全治したけれど…、という告白があったということです。(中略) T家では、「人生のスタートにおいて、女性の信頼を失った男性は、夫たる資格がない。正直に告白したことは、男らしいこととしてほめられるべきことではあるが、挙式後というもう逃げられないところまで追い詰めて告白するのは卑怯である」、とも怒っていらっしやいました。

(桑井いね『続・おばあさんの知恵袋』1977年 BCCWJ) ※1 ページ目と同一例
今夜は、この後そういう話になるのか…? 続けて、再び煩わしさが募ってくる。正直に告白したところで、女には男の本心など分かりはしないだろう。とすれば、いびつな勇気をふりしぼって、またいくつもの嘘をつかねばならない。美也を愛していると偽り、女とは別れたいのだと言い…そして女は泣き、わめき、罵り…。

(原田宗典『優しくって少しばか』1986年 BCCWJ)
僧は答えた。声は怒りで震えている。「わたしもサン・ヘネロの修道院から来ました。これまで二十年もいたところですが、おとこの晩に襲撃されました」 そう言うとき男はため息をつき、さらに続けた。「主はきっとわたしたち子供に試練を与えようと、何かお考えがあつてこのような事をされているのでしょうか。しかし、わたしは正直に告白いたしましう。主のお考えが一体どこにあるのか、まるで見当がつかないのです」

(シドニィ・シェルダグ (著) / 天馬竜行・紀泰隆 (訳) 『時間の砂 上』1990年 BCCWJ) 告白小説の元祖ともいえる『蒲団』も、のちに続出した、あまりにも露骨な告白小説と比べれば、むしろ心境小説といていいような、深い人間洞察と心理描写があります。ところが、出来るだけ正直に告白するのが、文学的な価値なのだという、一方的な価値観がエスカレートしていくと、やがて「貧乏自慢」だけの小説になっていく。

(三田誠広『書く前に読もう超明解文学史』1996年 BCCWJ) アダムは声を張り上げ、さらに力強い口調で続けた。「皆さんの中には刑事弁護士も大勢いらっしゃるはずですが、正直に告白しますと、わたし自身、弁護士の中でも刑事弁護士が一番カッコいい仕事だと思ってきました。刑事弁護士は他人の生死を扱います。だからこそ我々の情熱を傾けるにふさわしい名誉ある仕事だと思うのです。ところが」

(シドニィ・シェルダグ (著) / 天馬竜行 (訳) 『天使の自立 下』1996年 BCCWJ) 中澤 ここで、メールを紹介したいと思います。木更津市のラジオネーム・お笑い三銃士さんからです。「翔やん！ 今日中澤さんに告白するというの、実行してくださいね」ってことなんですけど…何を告白してくださるんですか？翔 はい、えーと、今回にあたって、私のオールナイトニッポンのほうで、中澤さんの情報をいろいろと募ったわけですよ、そのなかにですね、『マイバースデイ』の読者だったというですね情報がございまして、私もかなりのマイバースデイ野郎なもので、今日、あの作ってきたんですけど、中澤さんの…。(翔、下手な手書きの占い表を広げる。) 中澤 アハハハハハハ !! 翔 占いをですね、いろんな各誌から、集めまして、私の別に頼まれてもないイラスト付きで作ってまいりました。

(中澤裕子・綾小路翔『改心』2002年 BCCWJ)

「を」格や「と」格を伴わず、かつ恋愛の意味ではない6例のうち5例が「正直に告白する」という用例であり、さらにそのうち4例は告白した内容が「告白する」を含む文の前後の文(下線部参照)で述べられている。これらの用例は、「～を正直に告白する」という「を」格を伴う形、あるいは「～と正直に告白する」という「と」格を伴う形であれば、目的語がある例として処理するが、この4例はそうではなかったため、目的語なしの用例としている。

一方「正直に告白する」という形ではなかった1例では、「中澤さんに告白」という目的語が省略された「メール」に対し、「中澤」は「何を告白してくださるんですか？」と、「告白」の内容を尋ねている。「告白」が本来「を」格の目的語を伴うものであるということが、ここからもうかがえる。

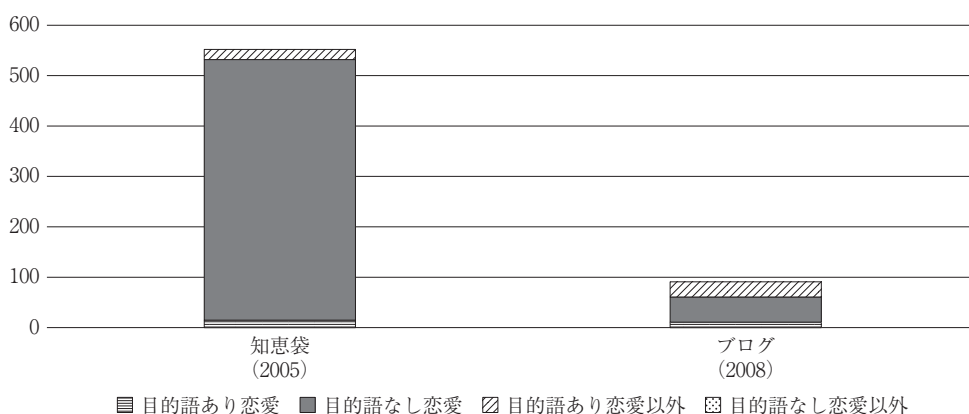
2-2-2 インターネット資料での「告白」

次に、「ネット例」の集計結果を表3およびグラフC・Dに示す。

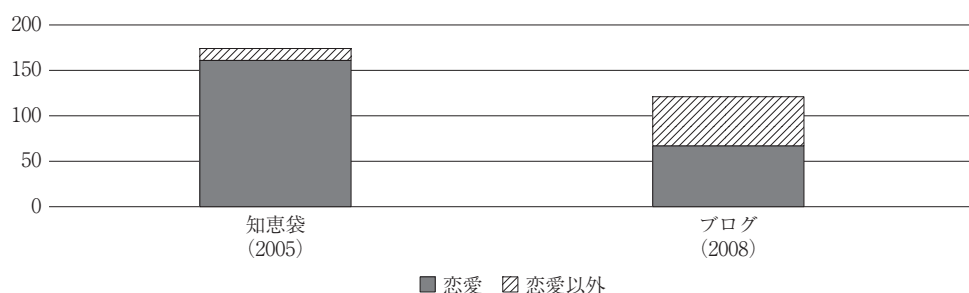
表3 「告白」に占める「目的語なし恋愛特化」用法の年代別推移（ネット例）

	動詞「告白する」				動詞 小計	名詞「告白」			動詞 + 名詞 合計
	目的語 あり 恋愛	目的語 あり 恋愛 以外	目的語 なし 恋愛	目的語 なし 恋愛 以外		恋愛	恋愛 以外	名詞 小計	
知恵袋 (2005)	15	20	517	0	552	161	13	174	726
ブログ (2008)	11	30	50	0	91	67	54	121	212
合計	26	50	567	0	643	228	67	295	938

グラフC BCCWJにおける動詞「告白する」用例分類（ネット例）



グラフD BCCWJにおける名詞「告白」用例分類（ネット例）



動詞では、恋愛の意味か否かに関わらず、目的語がある用例自体が少ないこと、目的語がない用例は、すべて恋愛の意味であったことが特筆される。特に「知恵袋」では動詞合計552例のうち約94%にあたる517例を、この目的語のない恋愛の用例が占めることとなった。「ブログ」でも動詞合計91例中50例と約55%を占めている。以下、「知恵袋」と「ブログ」の用例を、1例ずつ挙げる。

昨日のあいのり、主人に録画を頼んだら忘れてしまって、見逃しました～(涙) 主人の話では、純平はりこに告白したとの事でした。純平とオーセがラブラブのプリクラも出回っているとの事でしたが、純平は、りこなんですね・・・。

(「知恵袋」2005年 BCCWJ)

この用例は、「純平」が「りこ」に「告白した」ことは明記されているが、何を告白したのかは書かれていない。しかし、告白した「純平」が別の「オーセ」という人物と「ラブラブ」とあり、恋愛関係を想起させることから、この用例を目的語なしの恋愛特化の用例とした。

こんばんは。ラジオネーム、「プ〇〇〇〇中」こと、ちょにーです。FM ニイガタに毎週リクエストをガンガン送っていますが、以前番組中で流れたボクのコメント、「告白する時、“好きです”と“好きだよ”、どちらがいいですか？」番組内では、ボクのコメントに対し、“好きだよ”の方が嬉しい、という結論が出ました。

(「ブログ」2008年 BCCWJ)

この用例は、誰が誰に何を告白したかが一切明記されていない。しかし直後に「“好きです”と“好きだよ”」とあるので、恋愛の意味であると判断した。

なお、これら2005年・2008年の「ネット例」では、「目的語なし恋愛特化」の用例数の割合を、同じ2005年・2008年の「非ネット例」での同割合と比較すると、「ネット例」の方が圧倒的に多い。インターネットという環境で広く見られることから、いかにこの用法が新しく、かつ、比較的くだけた言語環境で広がっているかがわかる。

3 「コクる」の使用実態

3-1 調査方法・分析観点

次に、「告白する」の短縮形である「コクる」の使用実態について見ていきたい。こちらでも前項の「告白」と同様に、「BCCWJ」を対象としたが、検索方法は「語彙素読み」で「コクル」と検索を行った。これは、「コクる」の表記が「告る」のように漢字の場合もあるほか、「コクった」のように活用していることがあるため、それらも検索の対象とするためである。また、こちらでも「告白」と同様に、「ネット例」と「非ネット例」で分けた。

3-2 調査結果

3-2-1 インターネット以外の資料での「コクる」

その調査結果は表4およびグラフEである。「ネット例」では52例、「非ネット例」では13例が集まった。

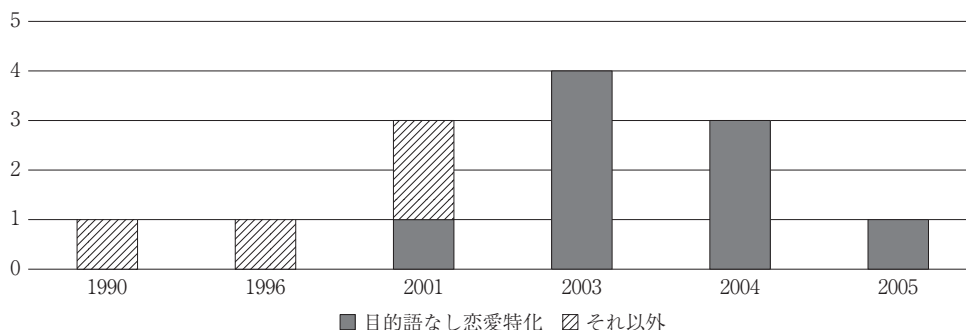
まず表4・グラフEの「非ネット例」を見ると、初出は1990年となっている。ただし、

表4 「コクル」に占める「目的語なし恋愛特化」用法の年代別推移（非ネット例）

	目的語なし 恋愛特化 (A)	それ以外 (B)	合計 (A+B)	合計に占める (A) の割合
1990	0	1	1	
1996	0	1	1	
2001	1	2	3	33%
2003	4	0	4	100%
2004	3	0	3	100%
2005	1	0	1	100%
合計	9	4	13	69%

グラフE

「コクル」に占める「目的語なし恋愛特化」用法の年代別推移（非ネット例）



この1990年と1996年の用例については、以下に挙げるように、「語彙素読み」での検索ゆえに紛れ込んだ、「告白する」の短縮形とは異なるものである。

後程の「釈道空」の号は兄進がつけてくれたもの。いつ頃から名告つたものか明らかでないが、明治四十三年十月、某宛の絵はがきに記されているのが、現在の初見資料とされている。
(宮柊二『宮柊二集』1990年 BCCWJ)

其比較に当りては、中否軽重を論ぜず、敵より負を告るを以て勝を定む

(子母澤寛『逃げ水』1996年 BCCWJ)

この2例は、BCCWJで語彙素は「告る（コクル）」とされているが、恋愛の意味である「コクル」には該当しないと判断し、ひとまず除外しておくこととする（前者は「なのった」、後者は漢文なので「負をつける」であろうか）。

最初の確実な例として、2001年に、恋愛の意味の「告る」がある。

(前略) 横に乗り込むやいなや、よか香りがした。やはり女のコのクルマはこうでない
とイカン。(中略) そして、みんないなくなった。「もしや、2人きりにさせる作戦

か？」と少しうれしくなったが、すいぶん遠くに“赤いちょうちんカー”を発見して納得。そうか、逃げていたのか…。おいどんは避難した駐車場でギャルに告られることもなく、タバコの投げ捨てのように“ポイツ”と降ろされたのであった…。

(野村謙『ドリフト天国』2001年 BCCWJ)

この用例では、「告る」人間が「ギャル」であるという情報はあがるが、何を「告る」のか、その目的語は存在しない。しかし、この場面を推測するに、「林シルビア」という「ギャル」の車に乗り込んで、「いいニオイする」という感想を言っていること、「みんないなくなった」後に「2人きり」になることを「少しうれしく」思っていることから、この「おいどん」は「林シルビア」に男女の関係を期待していたと判断される。

以下、同様に目的語がなく、かつ恋愛の意味で「コくる」を使っている、2003年・2004年・2005年の例を1例ずつ挙げる。

告ったら「おまえがつき合いたいならつき合っただけよ」とか「つき合いたい、つき合いたくないかはおまえが決めて」って言われた。マジひいた、つか、ムカついた

(野浪まこと『My Birthday』2003年 BCCWJ)

ヤンキー中学だったんですけど、腹にさらし巻いて短ランとか着てる、学校で一番荒れてる先輩に告られて、「なんでアタシみたいな真面目系!？」。で、「お前付き合っただからあー、昼休みぐらい会おうよ」って言われたから、恐々「ハイッ」って会ったら、ソッコー“もみもみ〜”みたいな!

(長崎祐子『ありのままの“初”物語』2004年 BCCWJ)

この2例はいずれも「付き合う」という文言があり、何らかの男女間の人間関係を示唆するものである。

馬鹿、ヨッチちゃんなんて目じゃねーよ。俺はな、ケータイの出会い系サイトで、東京の女と知り合ったんだ。もう半年になる。おまけに先日、告られた。一度でいいから会って、そして抱いてくださいってよ

(山崎マキコ『東京19歳の物語』2005年 BCCWJ)

この用例は「俺」が「出会い系サイト」で「知り合った」「東京の女」に、「一度でいいから会って、そして抱いてください」と「告られた」というものである。これは「コクった」内容について触れられており、これまでの「コクった」内容について直接は触れられていない用例とは性格が異なっている。

3-2-2 インターネット資料での「コくる」

次に「ネット例」について、表5およびグラフFにその集計結果を示す。

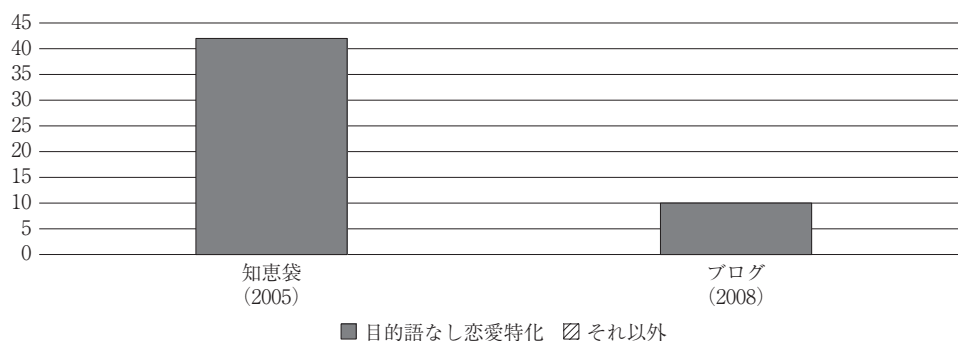
今回集まった「知恵袋」の42例および「ブログ」の10例すべての「コくる」は、恋愛の意味で使用されていた。以下、「知恵袋」と「ブログ」を1例ずつ挙げる。

表5 「コクる」に占める「目的語なし恋愛特化」用法の年代別推移（ネット例）

	目的語なし 恋愛特化 (A)	それ以外 (B)	合計 (A+B)	合計に占める (A)の割合
知恵袋 (2005)	42	0	42	100%
ブログ (2008)	10	0	10	100%
合計	52	0	52	100%

グラフ

「コクる」に占める「目的語なし恋愛特化」用法の年代別推移（ネット例）



昨日、2年半付き合っていた彼女に振られました。ケンカしたときに、たまたま相談した相手が僕の友達で、告られたから気持ちがあ動いたと言っていました。その友達は、僕たちがずっと付き合っていたのは知っていたし、友達でした。（中略）正直、その友達のことは絶対に許せないし、二度と会いたくないくらいです。

（「知恵袋」2005年 BCCWJ）

この用例では、「僕」が「付き合っていた彼女」に対し、「僕の友達」が何かを「コクった」ことが読み取れる。「僕の友達」は、その「付き合っていた彼女」に対し、恋愛感情を伝えたのであろうことが想像される。

何って付き合い始めて5ヶ月ってことですw僕が告った5月4日から早5ヶ月ですか・・・○○さん、いつまでも好きでいてください（笑）

（「ブログ」2008年 BCCWJ）

この用例では「付き合い始めて」「好き」があるため、男女間関係であると判断した。

また、「知恵袋」の2005年および「ブログ」の2008年の、「非ネット例」と比較すると、「ネット例」の数の方が圧倒的に多いのは、「告白」と同様である。

4 「告白」から「コクる」へ

4-1 「告白」と「コクる」の歴史変遷

ここまで、「告白」と「コクる」の初出について見てきたが、改めて時系列順に整理する。

- ① 「告白」が初めて出現したのは、『日国大』にある1871年の『新聞雑誌』の用例で、「広告」と類似した「告げ知らせる」という意味であった。
- ② 『日国大』の挙例ではその後、1903年頃にキリスト教を源とする、「自分の内なる心を打ち明ける」という意味があり、これがのちにキリスト教に関わらず広く「打ち明ける」となって現在に至っていると推測される。
- ③ BCCWJにおいて、1990年に目的語を持たない「告白」の用例が1例検出された。この用例では恋愛の意味で「告白」を用いていた。今回の調査では、これが最古の「目的語なし恋愛特化」の「告白」の用例である。しかしその後しばらくは、このような「告白」の用例は見られなかった。
- ④ 1997年には、「告白する」の短縮形である「コクる」が、10代・20代のいわゆる若者世代で出現する。この「コクる」は「告白」の中の「打ち明ける」という意味の、さらに恋愛に特化した意味という、非常に狭い意味で使用されるようになる。
- ⑤ 「コクる」の出現に連動するように、「目的語なし恋愛特化」の「告白」の用例が、2003年になって急増する。特に「ネット例」においてその用例数が多く、これ以降、「告白」と「コクる」はともに恋愛の意味で浸透したといえる。

このように、「コクる」という「若者言葉」の登場によって、「告白」という漢語自体の意味が恋愛の意味へとシフトしていくことになったといえる。

4-2 恋愛の文脈とキリスト教教会での「告白」

では、なぜ「告白」が、「コクる」という短縮語を生むほどに恋愛の場面で多用されるようになったのか。

その要因の一つとして、キリスト教との関係があるのではないかと考える。表1で8辞書の「告白」の記述を比較したが、このうち『日国大』『明鏡』『岩波』『大辞林』にキリスト教の意味の記述があった。『日国大』によればその初出は1903年頃と、「コクる」より非常に古い。しかし、近年の結婚式は、神社仏閣などで行う和風よりも教会で行う洋風を選ぶ人が多いという統計がある¹⁾。つまり、この「キリスト教の教会で挙げる洋風の結婚式」と、「キリスト教の「告白」」のイメージが重なって、恋愛の場面において「告白」が用いられるようになったのではないかと、一つの可能性として提示しておく。

もう一つの可能性は、恋愛の場合には、目的語がなくとも、前後の文脈から恋愛感情を告

げていることが容易に推定しやすいということが指摘できる。今回挙げた用例でも、を男女の人名や「付き合う」「振る」といった恋愛を想起させる表現が、「告白する」を含む文の前後にあることで、「告白する」の文で直接の目的語を書かずとも間接的に目的語が示されているようなものがあった。つまり、恋愛表現の文脈そのものが目的語を省略しやすい構造を持っていたともいえようか。

5 他の二字漢語との関係

5-1 語基「白」——「自白」「激白」「白状」

ここまで、「告白」と「コくる」について、男女間の人間関係を想起させる場面に限定して、その使用事態を確認した。

ところで、「打ち明ける」という意味を持つ二字漢語は、他にもある。例えば、「告白」と同じ語基の「白」を含む二字漢語に、「自白」「激白」「白状」がある。また、異なる語基で考えると、「露」を含む「吐露」や「暴露」も「告白」の類義語である。しかし、例えば「愛を〇〇する」という文の〇〇に、先の二字漢語をあてはめてみたらどうであろうか。おそらく、語によって与える印象が異なったり、そもそも不自然に感じたりする場合もあるのではないか。つまり、同じ「打ち明ける」という意味ながらも、それぞれ異なる特徴を持っていることになる。

そこで、5章では、この「自白」「激白」「白状」「吐露」について、まず『日国大』で基本的な意味を確認し、それからBCCWJの「非ネット例」の最古例と最新例をそれぞれ1例ずつと、「ネット例」を1例挙げ、使用実態を簡単に把握したい。

5-1-1 「自白」

①『日国大』の記述

まず、『日国大』の記述を以下に挙げる。

じ-はく 【自白】

〔名〕

(1) 自分から自分の秘密を告白すること。また、自分の罪悪を白状すること。

*日蓮上人〔1894〕〈幸田露伴〉二〇「さりながら此（これ）を以て直ちに穢民が子と自白（ジハク）せしなりと解せんは」

*吾輩は猫である〔1905～06〕〈夏目漱石〉一「吾輩は自白する。吾輩は猫として決して上乘の出来ではない」

*史記-呉王伝「嘗患見疑無以自白」

(2) 刑事訴訟法上、自己の犯罪事実および刑事責任を認めること。また、その供述。民

事訴訟法上では、相手の主張する自己に不利益な事実を認めること。また、その陳述。

* 仏和法律字彙〔1886〕〈藤林忠良・加太邦憲〉「AVEU.Jihaku, Jinin 自白、自認」

* 日本国憲法〔1946〕三八条・二「強制、拷問若しくは脅迫による自白又は不当に長く抑留若しくは拘禁された後の自白は、これを証拠とすることができない」

* 帰郷〔1948〕〈大仏次郎〉再会「自白する事実を持たないと云っても、売国奴呼ばりして懲りることなく追及が続いた」

『日国大』の挙例では、(2) の法律用語の意味の方が古いことになっており、「日本国憲法」でもそのように用いられている。その影響からか、(1) の例を見ると、「穢民が子と自白せしなり」や「吾輩は猫として決して上乘の出来ではない」のように、自身にとって不利益な内容を打ち明ける際によく用いられるようである。

② BCCWJ の用例

続いて、BCCWJ における例を見る。

「そんときアパートの部屋に置いたままでした。まさか、あげなふうに使われるとは思わんですけ。検事さん、これはぜんぶ正直な自白です。もし、この自白まで疑われるとなら、うちはもう、なんも言うことはなかです。どげでん、勝手に処分してもろてよかですけ」 いいだろう、あのとき思いきって話したように、いざとなれば高等裁判所で、ありのままをぶちまければ済むことだ、それでどんな恥ずかしい思いを味合ったとしても、共犯者の疑いをかけられるよりはマシなのだ…。

(佐木隆三『復讐するは我にあり』1975年 BCCWJ)

「取り調べの可視化」とは、捜査の結果、犯罪を行ったと疑われる被疑者に対して警察や検察が行う取り調べの全過程を録画・録音することで可視化が実現すると、冤罪の原因となる密室での違法・不当な取り調べによる自白の強要が防止できるとともに供述調書に書かれた自白の任意性や信用性が争われた場合には取り調べの録画・録音テープが証拠となります。

(広島県尾道市『広報おのみち』2008年 BCCWJ)

この2例の「自白」の意味は、『日国大』の(2)にあった犯罪を打ち明ける法律用語の意味である。

大連立持ちかけ失敗、辞任ぶつつつもケジメ撤回の惨めな小心者。政権担当能力ないと自白したあと、馬鹿なビラくばってただけのおこちゃま民主党にまかせようとする愚。

(「ブログ」2008年 BCCWJ)

この「自白」の意味は法律用語ではないものの、「政権担当能力ない」と、やはり自身にとって不利益な内容を打ち明ける意味で使われている。

③「自白」のまとめ

以上の観点から、「自白」については、次のようにまとめられる。

- ・もとは法律用語であり、犯罪や自身に不利益な事実を打ち明ける意味で使用された。日本国民誰もが知るべき「日本国憲法」においても、その意味で使用された。
- ・やがて一般化したがる、その意味は変わらず、自身にとって不利益な内容を打ち明ける際に使用される。
- ・それゆえ、「愛」のように、自身にとって利益のある内容では使用されにくい。

5-1-2 「激白」

①『デジタル大辞泉』の記述

「激白」は『日国大』に解説がなく、ジャパンナレッジでは『デジタル大辞泉』の記述しか見つけられなかった。

げき-はく【激白】

[名] (スル) 隠していること、人の知らないことなどを、あからさまに打ち明けること。

「秘めた恋を一する」「会社の裏事情を一」

[補説] 週刊誌の見出しに多出。

「自白」と異なり、「恋を激白する」「会社の裏事情を激白する」と、自身にとって利益のある内容も不利益な内容でも用いることができ、「告白」に置き換えることも可能である。しかし、「告白」よりも「激白」の方が、かなりの覚悟を持って打ち明けているように聞こえないだろうか。特に「会社の裏事情」を打ち明けた場合、その打ち明けた側は「会社」から何らかの処分を受けてもおかしくない。それを覚悟のうえで打ち明けたという意味で「激白」が用いられていると考えられる。このような強い印象付けができることから、「週刊誌の見出しに多出」するのであろう。

② BCCWJ の用例

次に、BCCWJ の用例を挙げる。

聡子さんが席を立て、テレビの横のマガジンラックから〈週刊新世紀〉を探し当て、「仰天レポート第七弾・《自然なお産》の罫にはまる女たち—ナチュラルバースセミナー元講師、妊婦釣りの手口を激白一」と、見出しを読み上げた。

(青井夏海『赤ちゃんをさがせ』2001年 BCCWJ)

この用例は、『デジタル大辞泉』で指摘されていた「週刊誌の見出し」にあたる。この「激白」を、もし「告白」に変えたとしても意味は通じる。おそらくこの「妊婦釣り」は悪事で、「元講師」はそれをしてきた当事者であると推定される。いわば犯罪者が自身の罪の手口を打ち明けるということであり、これを強調するためにわざと「激白」としていると考

えられる。

「君と一緒に『アイランド』をやりたい」と、あのスティーブン・スピルバーグに言われ、あのジェリー・ブラッカイマーから離れたマイケル・ベイ。彼にとってはクローンをテーマにした初の近未来SF（『アルマゲドン』はSFとは言えないので）であり「あまり読んだことがないようなオリジナルな脚本」。だが、マイケルはそこに「僕がアクションをプラスした」と激白。実際、出来上がった作品は近未来SFでありながら、それさえ忘れさせるような激しいアクションの連続なのだ。

（渡辺麻紀・相馬学『Weeklyぴあ』2005年 BCCWJ）

こちらも、「激白」を「告白」と読み替えても意味は通る。しかし注目すべきは、この文が「だが」と逆説で始まっているところである。この「だが」が入ることによって、「マイケル・ベイ」が「近未来SF」に「アクションをプラスした」ことがより強調され、読者の興味を惹かせる効果を生んでいると考えられる。つまり、「マイケル・ベイ」の「アクションをプラス」するというアイデアによって、「出来上がった作品」が「激しいアクションの連続」で、「近未来SF」であることを「忘れさせるような」作品となったのだ、ということ、この文章では伝えているのであろう。

これに負けじ？と真矢は「5年前の話ですが…」と顔を真っ赤にして切り出すと、「キスマークをはがきで送ると当選する万年筆の懸賞で、年齢を二十三歳と書いて応募しました」と激白。およそ四十歳（当時）にして二十三歳をかたるとは…。元宝塚スターまでもが、意外な過去を明かした。

（「ブログ」2008年 BCCWJ）

こちらも「激白」を「告白」に置き換えても意味は通じるが、「顔を真っ赤にして」と、後の内容を打ち明ける際に、話者の「真矢」は相当な覚悟を持っていることが伝わってくる。

③ 「激白」のまとめ

以上、「激白」については、次のようにまとめられる。

- ・「激白」は「告白」と同様に、自身にとって都合の良い内容（例：「愛」）でも、不都合な内容（例：「犯罪」）でも、用いることができる。
- ・「激白」と「告白」の違いは、「激白」の方が、かなりの覚悟を持って強い気持ちで打ち明けているというニュアンスが強い点が挙げられる。

5-1-3 「白状」

① 『日国大』の記述

「白状」の『日国大』の記述を以下に記す。

はく-じょう [：ジャウ]【白状】

〔名〕

(「白」は申すの意)

(1) (一する) 隠さないですべてを申し述べること。自分の犯した罪を申し述べること。

隠していたことをうちあけること。自白。自供。

* 色葉字類抄〔1177～81〕「白状 ハクジャウ」

* 古事談〔1212～15頃〕六・犬告危難于道長事「已以白状、雖然不被行罪科」

* 太平記〔14C 後〕一三・北山殿謀叛事「残る所なく白状しなければ」

* 評判記・色道大鏡〔1678〕一四「供したる者を密(ひそか)にちかづけ、終日のありさまを白状(ハクジャウ)させしむ」

* 小学読本〔1884〕〈若林虎三郎〉四「汝白状せずば出さじと」

* 漢書-丙吉「邊府、見吉白状」

(2) 犯人の自白書。罪人が申し述べた罪状を書き記した文書。糾問者との問答形式をとるものや、罪状を簡条書にしたものなどがあり、末尾に犯人と糾問者の署判がある。くちがき。口供(こうきょう)。

* 平家物語〔13C 前〕二・西光被斬「糾問はきびしかりけり、残なうこそ申けれ。白状四五枚に記せられ」

* 吾妻鏡-正嘉二年〔1258〕八月一八日「被推問之、任法之処、屈氣不能言、結句相誘之、主人已令献白状畢」

* 太平記〔14C 後〕二・俊基朝臣再関東下向事「今度の白状共に専隱謀の企彼朝臣にありと載たりければ」

基本的には「自白」と同じような意味である。特に(2)では「自白書」とあり、「白状」の「白」が「自白」、「状」が「書」にあたると考えられる。ただし『日国大』の挙例を見る限り、(1)が1100年代から1800年代の用例までであるのに対し、(2)は13世紀から14世紀の短期間の用例しかないため、(2)は特殊な意味であると推定される。

② BCCWJ の用例

次に、BCCWJを見る。

ハンカチーフを懐の中へしまうと、勝は言った。「今日はお前の本当の気持を白状させるよ！ アタシの敵か味方か白状しなくては小遣いも中止だよ」

(萩原葉子『蓼麻の家』1976年 BCCWJ)

この「白状」は「勝」が「お前」すなわち相手に打ち明けさせようとしているもので、「今日は～」とあることから、相手はこれまで「敵か味方か」を明確にしてこなかったであろう。

もし、私が相手方だったら、リンカーンをつかまえて、「ちょっと待ちたまえ。どうも

あいつの面構えが気に入らんというのが、あんたの目は確かかね」と一つ突っ込みたいところだ。その人はそこまでよう肉薄しなかった。孔子でさえ、と言うて、人を見損のうたことを白状しておく。そうそうなかなか人間というもののは分かるものではない。

(安岡正篤『人生の五計』2005年 BCCWJ)

「人を見損のうたこと」と、自身にとって不都合な内容を打ち明けている。おそらく、打ち明けた結果、自身が責められることも想定しているのであろう。

時間ば巻き戻す、あの技で、イナズマン先輩のオマージュって、俺は素直に白状しとくけん？あ、ついでに。アミノンジャーには、悪い事してしもうたかいな？俺がおらんやったら、もちょっとネーミング楽やったろ？ (「Yahoo! ブログ」2008年 BCCWJ)

こちらも「あの技」が「イナズマン先輩のオマージュ」であったと打ち明けている。おそらく、オリジナルではなく「オマージュ」であったことを言いたかったと考えられる。そう考えると、これも非難される可能性が高いことを打ち明けているといえる。

③ 「白状」のまとめ

以上、「白状」については、次のようにまとめられる。

- ・基本的には「自白」と同じく、自身にとって不都合な内容を打ち明ける際に用いられる。
- ・打ち明けた結果、非難されることが目に見えている内容に対して用いられる傾向がある。

5-2 他の語基の二字漢語——「吐露」「暴露」

次に、語基「白」から離れ、「露」がつく「打ち明ける」意味の二字漢語「吐露」「暴露」について見たい。まず、語基「露」そのものの意味について考える。『日国大』の字音語素「露」には、次のように掲載されている。

- (1) つゆ。水滴。／雨露、塵露、霜露、風露、露電／甘露、玉露、曉露、草露、朝露、白露／如露／露珠、露盤、露点、露菌病／
- (2) はかない。わずか。／露命／
- (3) 屋根やおおいがない。／露営、露坐、露次、露宿、露寝、露積／露車、露場、露台、露天、露店、露仏、露地／
- (4) あらわれる。あらわす。覆いをとる。／吐露、発露、暴露、披露、露見、露頭、露出、露表、露呈／露光、露頂、露頭／露岩、露骨、露根、露礁、露頭／
- (5) 「露西亜(ロシア)」の略。／英仏露、日露／欧露／露語、露都

「吐露」「暴露」は(4)に分類されている。「白」と異なり他動詞の「打ち明ける」ではなく自動詞の「あらわれる」とされている。

5-2-1 「吐露」

①『日国大』の記述

「吐露」の『日国大』の記述を見る。

とーろ 【吐露】

〔名〕

心に思っていることを、包み隠さないで全部述べ表わすこと。心の中を打ち明けること。心の底から誠をもって語ること。

* 杜詩統翠抄〔1439頃〕九「今甫 心胸を吐露而言也」

* 文明本節用集〔室町中〕「敢不吐露（トロ）情実〔答陳商書〕」

* 羅山先生文集〔1662〕七・示石川丈山「吾豈不吐露情実乎」

* 花柳春話〔1878～79〕〈織田純一郎訳〉三〇「一友に事実を吐露（トロ）し而して其決を扱ばんとす」

* 侏儒の言葉〔1923～27〕〈芥川龍之介〕社交「我々の本心を吐露するとすれば、古への管鮑の交りと雖も破綻を生ぜずにはゐなかつたであらう」

* 韓愈－答陳商書「愈敢不吐露情実」

基本的にはこれまでの「告白」「自白」「激白」「白状」と変わらないが、「自白」や「白状」のように、犯罪や法律に特化したものではない。

② BCCWJ の用例

続いて、BCCWJ の用例を挙げる。

女御はあきらかに『伊勢物語』を踏まえて、「変らぬ松の色」にようやく癒された思いを吐露している。彼女にとって、伊勢こそ「つらくもあらぬ地だったのだ。

（清水好子『人物日本の女性史』1977年 BCCWJ）

この「女御」は「思いを吐露している」と、自身の気持ちを打ち明けている。「ようやく癒された」とあることから、それまでは辛い思いをしていたものが癒されたということを示唆しており、より深い気持ちを打ち明けている印象を受ける。さらに、その癒しを与える外的要因があったことで、それを打ち明けることになったともいえる。

若手の指導技術を高めようとする姿勢に対し、講座を受けたあるベテラン教員は「成長しようとする姿勢に感心する。自分も現状にあぐらをかいてはいけななと感じた」と吐露。若手の奮闘ぶりがベテランにも良い刺激を与えているようです。

（神奈川県厚木市『広報あつぎ』2008年 BCCWJ）

この例では「ベテラン」が「若手」を見て「感心」し、また自分自身についても「現状にあぐらをかいてはいけなな」と反省している。いわば、「若手」の姿を見て、自分の弱みに気づき、それを打ち明けたともいえる。

フジ月9は「ブラザーズ」以来、実に十一年ぶり。民放連ドラはTBS系「砂の器」以来、5年ぶりという中居。近年はバラエティー番組や司会業の印象が強く、本人が「お芝居には苦手意識がある」と吐露したこともある。だが、昨年十一月公開の映画「私は貝になりたい」では、丸刈りにして十キロ以上減量するなど役者魂を発揮。その熱演で映画賞の主演男優賞を獲得するなど、高い評価を受けた。

(「ブログ」2008年 BCCWJ)

こちらは、久しぶりにドラマに出演するということになったことに対し、「お芝居には苦手意識がある」という、自らの弱みについて打ち明けている。芸能人としては、本来役者も司会業も、あらゆることができたほうが、活動の幅も広がる。しかし芝居は苦手ということを打ち明ければ、その活動の幅を自ら狭めることになる。本人もそれは理解していたはずではあるが、久々にドラマ出演をすることになったという外的要因により、この自らの弱みを打ち明けざるを得なくなったといえるのではないであろうか。

③ 「吐露」のまとめ

以上、「吐露」については、次のようにまとめられる。

- ・ 犯罪や法律に関わる専門用語ではなく、広く「心の中を打ち明ける」意味で使われる。
- ・ 特に、外的要因によって自らの弱点を打ち明けざるを得なくなったときに使われると考えられる。

5-2-2 「暴露」

① 『日国大』の記述

はじめに『日国大』の記述を引用する。

ばく-ろ 【暴露・曝露】

〔名〕

(1) 風雨にさらすこと。また、風雨にさらされること。

* 続日本紀-養老四年〔720〕六月戊戌「然將軍暴露原野、久延旬月」

* 羅山先生文集〔1662〕三九・千葉常胤「或暴露于海西、或統兵于東奥」

* 春秋左伝-襄公三一年「其暴露之、則恐燥湿之不時、而朽蠹、以重敵邑之罪」

(2) さらけだすこと。むきだしにすること。

* 瀬祭書屋俳話〔1892〕〈正岡子規〉宝井其角「豪放跌宕なる者は常に暴露に過ぐるの弊あり」

* 吾輩は猫である〔1905~06〕〈夏目漱石〉九「あばたを天下に曝露しつつ毎日登校して」

* ロシアの復活〔1924〕〈荒畑寒村〉衛生施設・二「ロシアの医師がほとんど不眠不休、

有ゆる危険に身命を曝露して活動せるに対して」

(3) 他人の悪事や秘密などをあばきだして広く人々に知らせること。また、秘密にしていた悪事などが明るみに出ること。

* 史記抄〔1477〕一二・樂毅「左右のものが讒して我をあやまらせたぞ。暴露（ハクロ〈注〉アラハレアラハルル）の心ぞ」

* それから〔1909〕〈夏目漱石〉二「会計に穴を明けた。それが曝露（バクロ）したので」

* 暗夜行路〔1921～37〕〈志賀直哉〉二・六「それから亡き母上のさういふ事を暴露（バクロ）する事もつらかった」

古くは (1) の意味で、現在とは全く異なる意味である。それから (3) の意味が1477年に単発で出現したのち、「露」の字音語素にあった「あらわれる。あらわす。」に近い (2) の意味になっている。その後、再び (3) の意味が出現している。余談ながら夏目漱石は、ほぼ同時期に (2) (3) の意味で「暴露（曝露）」を用いているようである。

そのような「暴露」の意味の中で注目すべきは、(2) の「さらけ出す」と、(3) の「他人の悪事や秘密などをあばきだす」すという点である。これまでの「告白」「自白」「白状」「吐露」は、すべて自らのことを打ち明ける意味であった。それが、「暴露」は自らのことでなく、他者のことをあらわにするという意味もあるということである。

② BCCWJ の用例

次に BCCWJ について、「非ネット例」「ネット例」の順で見る。

もしも誰かが彼らに、会社の意図と彼らが意識せずに演ずる役割とを、説き明かし暴露したとしても、彼らは同じように軽口をたたきながら坑内に入って行っだろう。

（外岡秀俊『北帰行』1976年）

この例では「誰か」が「彼ら」に「会社の意図と彼らが意識せずに演ずる役割」を打ち明けている。打ち明ける側の「誰か」の視点で考えると、「会社の意図と彼らが意識せずに演ずる役割」とは「誰か」自身のことではなく、「会社」のことである。これが①で指摘した、自らのことではないことをさらけ出しているという「暴露」特有の意味であるといえる。

政府は詐欺を押しえつけるプランを発表した。そしてそれにより数千万ポンドを節約するとしていた。予算期が近づくとつれて、NHSの直面する財政危機の公的な警告やメディアの暴露が激しさを増していた。

（梶原朗『イギリス社会保障の歴史的研究』2005年）

この例でも、「メディア」が「政府」のことを「暴露」しているという意味で、他人のことをあらわにするという「暴露」特有の意味である。

あ、知り合いになる機会が多いってのも思い出した。事務所を解雇されたグラビアアイ

ドルが色々業界裏話を暴露しているとか。売れないアイドルの子はイケナイ商売してるとかね。 (「ブログ」2008年)

この例でも「グラビアアイドル」が「業界裏話」を「暴露」するという意味で、これも自分自身のことを打ち明けているわけではない。

③「暴露」のまとめ

以上から、「暴露」の特徴として、次のようにまとめられる。

- ・もとは「風雨にさらされる」という、現在とは全く異なる意味だった。
- ・のちに「打ち明ける」意味も生まれたが、最近では「さらけ出す」のように、自らのことではなく、他者のことを晒すという意味で用いられることが多くなっている。

5-3 まとめ——「告白する」「コくる」との比較

ここまで、「告白」の類義語として「白自」「激白」「白状」「吐露」「暴露」の5語を取り上げた。次に、この5語を「告白する」「コくる」と比較したい。

先行研究として、松井栄一氏の『ちがいがわかる類語使い分け辞典』(2008年)に「告白」「白状」「吐露」「披瀝」²⁾の用法の比較があるため、それを見ていく。

表6 「告白」「白状」「吐露」「披瀝」使い分け

表現例	告白	白状	吐露	披瀝
A 苦しい胸の内を一する	○		○	○
B 罪を一した	○	○		
C 互いに胸中を一する			○	○
D やったならやっとなしなさい		○		

(『ちがいがわかる類語使い分け辞典』2008年)

表6は、A~Dそれぞれの文例の一部分において使用可能な語に○がされている。Aの使い分けからは「告白」と「吐露」「披瀝」が、Bからは「告白」と「白状」、さらにCからは「吐露」と「披瀝」が似た性質を持つことが読み取れる。すなわち「告白」は「白状」の性質も「吐露」「披瀝」の性質も持ち合わせていることになる。

松井氏のこの分析結果を踏まえ、新たに次の2点の観点から比較する。

まず、誰の内容について打ち明けているかである。打ち明けている話者であれば「自身」、そうでなければ「他人」としている。

次に、打ち明けている話者にとって、都合が良い内容なのか、悪い内容なのかである。ここでは前者を「愛」、後者を「犯罪」として例示する。ただし「愛」には、離婚や失恋のように過去の忌まわしき「愛」、すなわち話者にとっては不都合な場合もあるが、ここではそのような「愛」は考えないものとする。

以上の観点から比較したのが表7である。なお「コクる」が動詞形のため、それに合わせて他の6語についても「〇〇する」という動詞形にした。

表7 「打ち明ける」意味の7語比較

	告白する	コクる	自白する	激白する	白状する	吐露する	暴露する
誰のことか	自身	自身	自身	自身	自身	自身	他人
話者にとって好都合な内容 (例：愛を――)	○	○	×	○	×	×	×
話者にとって不都合な内容 (例：犯罪を――)	○	×	○	○	○	○	○

まず、打ち明ける内容が誰のことかについては、「暴露する」のみ他人であり、他は自身のことである。

次に、その打ち明ける内容が、話者にとって好都合か不都合かという観点についてであるが、「告白する」と「激白する」は両方とも用いることができる。両者の違いとしては、「激白する」の方が、より強い意志で打ち明けていることが挙げられる。さらに「激白する」は新しい表現であり、週刊誌で多用されるという辞書の記述があったことは前述した。その他はどちらか一方でしか用いないことになるが、中でも「コクる」は唯一、自身に好都合な内容のみ用いることができるというパターンである。さらに同じ好都合な内容としても、例えば「テストで満点を取ったことをコクった。」というのは不自然になる。

そして、前掲の松井氏の分析(表6)より読み取った「告白する」が「白状する」と「吐露する」両方の性質を持つということは、話者にとって不都合な内容を打ち明ける場面で使用できる点で共通している。しかし「コクる」は「告白する」の略語でありながら、「白状する」「吐露する」とは反対に、話者にとって好都合な内容でしか使用できない。

このような点からも、「コクる」がいかに限定的な意味を持ち、かつ他の「打ち明ける」意味の語彙では代替できないことがわかるであろう。

6 まとめ

本稿では、漢語動詞「告白する」とその略語動詞「コクる」を例に、恋愛感情の意味という側面から両者の関係を探った。漢語動詞「告白する」が恋愛感情の意味に偏用されるようになったことで、その意味に特化した略語動詞「コクる」が生まれ、その略語動詞の浸透によって回帰的に漢語動詞の意味の偏りが助長されるという現象を論じた。すなわち、略語や俗語を作り出すという現象は、回帰的に語源となった語もその影響を受けていく可能性が少なくないということである。それゆえ、こうした略語研究では、その略語と語源との間で通

時的観察をする必要があるのではなかろうか。今後は、「告白する」の恋愛感情以外の意味が、どのような語に代わられたかについても論じていきたい。

注

- 1) 『マイナビウーマン』が、2013年11月8日～13日にWebアンケートとして、「結婚式を開くなら、洋風を選びますか？それとも和風を選びますか？」という質問を行い、有効回答数791件を得た。それによると、洋風が71.7%、和風が28.3%で、洋風が和風の約2.5倍となっている。(https://woman.mynavi.jp/article/131127-123/)
- 2) 『ちがいがわかる類語使い分け辞典』では「それまであまり表に出すことのなかった内心の思いや考えを(中略)筋道立てて述べる感じが強い」とされている。

【付記】 本稿は、2020年度に学習院大学文学部(日本語日本文学科)に提出した、次の卒業論文の一部をもととし、その後の調査と考察を加えてまとめたものです。なお、本稿を成す過程でも、安部清哉教授のご指導とご助言を賜ったことを記します。

三好拓斗「近代漢語語基の研究——中川重麗著理科教科書を中心に——」(安部清哉教授ご指導)

参考文献

【コーパス】

ジャパンナレッジ <https://japanknowledge-com.glim-eczp.glim.gakushuin.ac.jp/library/>, 2021年3月15日閲覧

現代日本語書き言葉均衡コーパス(通常版) BCCWJ-NT 中納言 2.4.5 データバージョン 2020.02
2021年3月15日の短単位検索結果

日本語歴史コーパス CHJ 中納言 2.5.2 データバージョン 2020.03 2021年3月15日の短単位検索結果

【辞書】

池田弥三郎ほか(1980)『学研国語大辞典』学研

日本国語大辞典第二版編集委員会(2000)『日本国語大辞典 第2版』小学館

米川明彦(2003)『日本俗語大辞典』東京堂出版

松井栄一(2008)『ちがいがわかる類語使い分け辞典』小学館

北原保雄(2010)『明鏡国語辞典 第2版』大修館書店

金田一京助ほか(2011)『新選国語辞典 第9版』小学館

見坊豪紀ほか(2014)『三省堂国語辞典 第7版』三省堂

西尾実ほか(2019)『岩波国語辞典 第8版』岩波書店

松村明ほか(2019)『大辞林 第4版』三省堂

山田忠雄ほか(2020)『新明解国語辞典 第8版』三省堂

【書籍】

『現代用語の基礎知識 1997』自由国民社

【論文】

- 太田一郎・牧瀬那生 (2001) 「言語意識から見た若者ことば使用の要因」、『人文学科論集』(54), pp. 67-83, 鹿児島大学法文学部
- 米川明彦 (2006) 「若者ことば研究序説」、『月刊言語』35 (3), pp. 20-25, 大修館書店
- 稲垣吉彦 (2006) 「若者ことばクロニクル」、『月刊言語』35 (3), pp. 34-39, 大修館書店
- 窪齒晴夫 (2006) 「若者ことばの言語構造」、『月刊言語』35 (3), pp. 52-59, 大修館書店
- 井上逸兵 (2006) 「ネット社会の若者ことば」、『月刊言語』35 (3), pp. 60-67, 大修館書店
- 方韻 (2013) 「若者ことばにみる特徴的表現の一考察」『日本學刊』、16, pp. 136-144, 香港日本語教育研究会

【Web サイト】

- 結婚式を開くなら、洋風？和風？「洋風：71.3%」 | 「マイナビウーマン」
(<https://woman.mynavi.jp/article/131127-123/>) (2021年3月15日閲覧)

ENGLISH SUMMARY

MIYOSHI Takuto

In this paper, we discussed the Sino-Japanese verb “Kokuhaku-suru” (confess) and its abbreviated verb “Koku-ru”. In recent years, “Kokuhaku-suru” has been used more often in the conveying of romantic feelings, and as a result,—“Koku-ru” arose a shortform that is—to this meaning Furthermore, as “Koku-ru” became widely used among young people, “Kokuhaku-suru” became more and more biased toward the meaning of romantic confession. This phenomenon was discussed using dictionaries and corpora with examples.

key words: Sino-Japanese, Abbreviation Expression. Youth Language. “Kokuhaku-suru” (告白する), “Kokuru” (コクる)